



英語落語の寄席で観客を高座に上げて芸を教える林家染太さん（右）

英語落語グッドや！

松山出身林家染太さん熱演

大阪

松山市出身の落語家、一日、大阪市北区天満二丁目、林家染太さん(三〇)が九一目の常盤寄席で英語落語

を披露した。

この日は、サッカーW杯が開催されていたとあって「英語落語ワールドカップ」と銘打ちカナダ人のクリス・リーさん(三七)と共演。林家さんは「ホワイト・ライオン」(邦題「動物園」)など、リーさんは英語落語用のネタ「オノマトピア(擬音語)」などを演じた。五十畳程度のこぢんまりした会場には、約四十人の愛好家が集まり、林家さんらの熱演に、笑い

と拍手を送った。

林家さんが英語落語の芸を教えるコーナーでは、観客が照れながらも高座に上がり、見よう見まねで扇子を使ううどんをすすする演技をするなど、和やかな雰囲気だ。

英語教室に通っている衣料品販売業の女性客(五〇)「大阪市阿倍野区」は「染太さんは表情が豊かで達者。つい笑ってしまっ」と話していた。